

令和 7 年 6 月 27 日

各 位

会社名 株式会社日本一ソフトウェア
代表者名 代表取締役 猿橋 健蔵
(コード番号：3851 東証スタンダード市場)
問い合わせ先
役職・氏名 取締役 平岡 三知
電話 058-371-7275

第 32 回定時株主総会の質疑応答要旨について

令和 7 年 6 月 26 日に第 32 回定時株主総会を開催し、株主様からご質問・ご提言を頂き、役員一同が回答いたしましたので、お知らせいたします。

記

(質問1)

・今年4月1日に、元代表取締役社長の新川氏が合同会社スーパーニッチを立ち上げたが、その会社との関係性について教えてほしい。

(回答)

・出資しているということはなく、当社との関係性はございません。

(質問2)

・「魔界戦記ディスガイア 7、これまでの全部入りははじめました」が昨年の7月に PlayStation版及びSwitch版が発売されたが、Steam版ではアップデート対応されていない。進捗はどのようなになっているのか教えてほしい。

(回答)

・Steam版では今後を含め対応を検討しております。

(質問3)

・対処すべき課題に、販売力の強化の項目があり、直接的なコミュニケーションと記載があるが具体的な内容を教えてほしい。

(回答)

・大きく2つあると考えています。1つは昨年度の末に行った「日本一ソフトウェア UNTITLED//」配信のように、オンラインによる当社と顧客とのコミュニケーションを図ります。もう1つとして、リアルイベントにおいても顧客とのコミュニケーションを図ってまいります。

(質問4)

・招集通知4ページのエンターテインメント事業と学生寮事業の売上高の前年同期比と、売上高全体の前年同期比が整合しない理由を教えてください。

(回答)

・全社費用（管理部門）の調整を加えることで、整合いたします。

(追記)

ご質問の内容は、売上高に対するご質問でしたが、回答は利益に対する内容となっております。ここに訂正するとともに、お詫び申し上げます。

エンターテインメント事業における売上高につきまして、招集通知の記載に一部誤りがございました。正しくは、以下の内容となります。なお、訂正箇所は太字下線部のとおりです。

訂正前：

その結果、当事業全体におきましては、売上高5,202,715千円（前年同期比1.0%増）、営業利益207,376千円（前年同期比77.7%減）となりました。

訂正後：

その結果、当事業全体におきましては、売上高5,202,715千円（前年同期比1.0%減）、営業利益207,376千円（前年同期比77.7%減）となりました。

(質問5)

・収益認識に関する注記に、セグメント別の売上が記載されているが、国内および海外の売上割合を教えてください。

(回答)

・明日6月27日に公開予定の有価証券報告書に、国内および海外の売上割合が記載されているので、そちらをご確認ください。

(質問6)

・エンターテインメント事業の営業利益が前年度比77.7%減となっているが、要因として考えられることを教えてください。

(回答)

・昨年は4タイトルを発売し、「ファントム・ブレイブ 幽霊船団と消えた英雄」が国内・海外同時発売であり最も売上を見込んでおりましたが、計画していたよりも売上が苦戦し、あわせて開発費用が見込みよりも掛かってしまったためです。

(質問7)

・対処すべき課題に、ゲームという分野に限らず商品・サービスを提供するとあるが、具体的にどういったものがあるか教えてください。

(回答)

・既存事業では、プリニークラブというカードゲームショップの運営や、子会社の株式会社楽しみチームにおける学生寮の運営などがございます。これに限らず、ゲーム周辺のエンターテインメントに関わる商品やサービスを指すとお考えください。

(質問8)

・先日発表された、受託タイトルの中止による損失について、委託側か受託側か要因がどちらにあるか教えてほしい。また、今後も同様に受託開発を行う方針なのか教えてほしい。

(回答)

・受託開発の契約見直しについて、内容については営業上の秘密に該当するので、回答を控えさせていただきます。今後の受託開発について、当社では新規IPの創出を重視しており、受託案件では新規IPの創出が難しいと考えておりますので、自社開発を中心に進める方針です。

以 上